202

東海道風景圖會

柳軒書

東海道風景圖會

前編

耕林堂梓

道中風俗
武家
たび僧
宿次
旅商人
比丘尼
修行者
田舎同者
一人旅
飯盛
留女

其二
宿引
いしや
賣茶
おちやれ
三宝くわうじん
順礼
参り
金ひら参
六部
ごぜ
東海
上五
東海
上四

凡例

○是まで著述せし写
生の図にハもれし其趣をとり道
中を用ひて余ハ是を小出しの
の風景となす
○社寺の壮麗神仏の霊験旅
舎の賑ひ等ハ先に風景等記
のいろいろの奇観其勝地を貴み
耳目をよろこばしむ風俗ハ口画
にうかべ尽しがたきを補ふて
道中の九牛が一毛なり
○一丁毎に五十三次の宿名を道
中のうちにて其次を図せる
にはあらず次の宿後左右に見へる
所の名所旧跡をいろいろに仮令の
地を勝図となして

品川

しば波の浦まで志ほ木
こぎ出る雲のなみまかな

宗祇法師

雲の名より
みしおの螺名は
せな川

海まくり
流れ
志せのくる人

羽根田の辯財
天ハ嶋の海岸
にありて池上村
の東つゞきハ大さく
山手まらん中新田
明神古河葉浜
いづれも玉川流
の村里にあり
けり

川崎

六ごうわたし
驛の東入口より
大師河原へゆく
道にハり園道
の西ハ子生山
観音のやしま
見ゆる

生麦

魚ヤ園

つるミ道

市場村西の入口
より新羽二子山
左りの方に見ゆる
鶴見橋まで
廿六町

つるミ川

市バ村

神奈川

驛の東二町許ニ浦島寺あり当所臺の西に仙元の人穴あり又大山道の追分より西の方にあり此臺の濱手を一図とす袖か浦といふ景色の地なり

本牧

臺の茶屋

程ケ谷

驛中より東の方に○杉田○金沢○鎌倉等へゆく道あり此所武蔵相模の國境なり

街道の西に尼将軍の守本尊観世音を安置する堂あり坂東の札所弘明寺も此邊なり

ごんた坂

杉田梅園

枝ふんで ゆくや 杉田の 梅ごよみ

○当所の梅樹絶ニ
すぐれてにほひこゝハ
しる人清景いはむか
たなし 初春梅の花ハ
世遊の雅客来りて
遊ぶなり

能見堂筆捨松より
金澤八景眺望
乙舳帰帆
洲崎晴嵐
称名寺晩鐘
平潟落
小泉夜雨
内川暮雪

戸塚

大山みち間道の
西の方にあり
又本宿の町はづれ
東の方に鎌倉山
玉縄など見ゆる

柏尾追分

大山みち

鎌倉
由比ヶ濱

江の島

片瀬村龍口寺
日蓮上人の遺跡
此處なり

北国紀行

あらきしほ
江の島かけや
うちよせん
花のうへなる
山科のさとのれ

尭恵法印

藤澤

当驛遊行寺に
小栗てる手の
木像 を安
置并家子郎等
十人の墓あり
東北方江の嶋
道へ入り弁才天
一の鳥居あり
建り

藤沢寺

江の嶋ミち

大山良辨之瀧

平塚

馬入川はむかしは相模川の
水下なりしが頼朝の橋ある
むかしが原に落波うちより
なりける所あるはある方に
ころくゑゆ

人丸家集
東路の
はへらしの原に
わすれての
きぬもちや
いつらの
旅に
いつらん

大山遠望

馬入川

鴫立て
者ぬけりのを
何よりも出る
三千風

大磯

昔者ハ屋舗にありし
鴫の石碑あり
西行庵ハ鴫の西行
まづれまいり俳人
三千風のこゝろ之
化ありし坂も此処

大まり

鴫立沢

小田原
酒匂川

箱根湯元の図
二子山集
坂中を
おしむらひ
雲雀
袖のくびる
東海道
湯場
連歌師宗祇
法師文亀二年
七月廿九日当所
早雲寺に寂す
八十二才なりし今
墓石碑遺像あり

箱根
峠の往来

箱根路をわか
こえくれハ伊豆の
うみや
おきの小しまに
波よする見ゆ

鎌倉右大臣

伊豆相模の境

箱根権現の
社ハ湖の邊に
あり

三島

沼津
足柄
箱根
足高

原
人皇七代孝霊天皇の
雪如紈素烟如柄
白扇倒懸東海天
松原

街道海の方山よせ驛ゟ原といふ所に曽我兄弟の社あり今八幡にまつる又富士のみかり久保といふ所も兄弟の墓碑あり

左り富士

西行

風になびく不二の煙の空にきえてゆくへもしらぬわかおもひかな

吉原

蒲原

おとにきゝし名高き
山のもとよりぞ
底さへみゆる
富士川の
出水

蒲原吹上の浜は
浄るり姫の塚なり

汐風の吹上の
ゆきかへは
きこえて
波の音まで
あはれなりけり

定家卿

この図ハ
岩ぶちの
坂よりふじ
川を見る図

由井

由井川の図

田子の浦といふ名所もこのあたりより奥津へかけたる浜辺なり

田子の浦は
浪ものさびしき
春のはしに
この浦を波に
くもりまかりける
芝国法師

奥津風
夜さむになれや
田子の浦
海士のもしほ火
焼まさるらん
越前

古へらんの濱袖の浦
清見か関の旧地
さつた山の眺望三保の
浦をみおろして此あたり
此辺は東海道第一の
勝地なり

坂江

松原の□□風
さゝめきて茶屋や
三保の沖津まで
きこゆなり

清見ヶ関

清見寺

後京羽院

清見かた富士の
けふりやきえぬらん
月のかけみかく三保の
まつはら

沖津

田子の浦

江尻

ちご稲荷の井にあり
水上せきも忘川といふ
清見がたより三保の浦まで
海上一里あり

清水のみなと

狩野の山手に
梶原景時父子が
自殺の地あり今猶
其石碑を存せり

江尻の宿

府中
あべ川

鞠子
うつの山
まりこ駅

岡部
宇津の山
蔦の細道
名物十だんご

藤枝

せと川の図

当所駅店の名物ハ染飯なりえだし黒とゆへなり

かり寝する瀬戸の渡をすぐのれハよるせになりつゝありし瀬いく世をへてハのかるらん

金谷

島田菊川の名
合ふ菊花をおもし

為家

紅葉月あき
うつろひぬ
きく川の
ながれにも
秋をのこれる

大井川満水の図

金谷坂上より
河原をみる
図

ふじさん

かなや宿

菊川茶屋
名物焼もちあり
承久記にいはく中納言
宗行卿
藤原宗行卿
が遂命の地も
此菊川なり

日坂

音羽山の観音堂
あるの西井みゆる
小萩井山新茶屋の
茶中に観音ありて

のひるみを
さやまゐらせう
たゞらふあく
よみちをうかきる
さやの中山

東の海道記に
さやの中山の茶
粧口あるとの事
とりも社まてよめる

又もこん
身のねぎ
ことの
まつなりけりハ
志るし
ちりけれ
あつの
めぐみ
葉

掛川

秋葉山別道

為相

よしさらのところへ
なかひとかねつくは
とこて小夜しをと
かけ川の里

今子當家名物なり
又花莚を織て土産とす

砂川橋十二間
新屋の西よ
新茶光る名

秋葉の鳥居

三都書林

京 吉野屋勘兵衛
大坂 敦賀屋九兵衛
同 綿屋喜兵衛
東都 須原屋茂兵衛
同 同 伊八
同 山城屋佐兵衛
同 同 政吉
同 出雲寺萬次郎
同 和泉屋市兵衛
同 山口屋藤兵衛
同 森屋治郎兵衛
同 丁子屋平兵衛
同 山崎屋清七
同通油町 藤岡屋慶次郎版